

企業の一次情報を生成 AI が正しく理解できる環境へ 「LLMO 基盤構築サービス」を提供開始

第一弾の「オウンドメディア現状把握診断」を起点に、情報構造・コンテンツ・構造化データの整備を支援

PR 発想であらゆるコミュニケーション活動を支援する、株式会社ブラップジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 勇夫、以下 ブラップジャパン）は、企業の一次情報を生成 AI が理解・参照しやすい形に整える「LLMO 基盤構築サービス」の提供を、2026 年 8 月 3 日より開始します。本サービスは、AIO（AI 最適化）領域におけるコミュニケーションを研究・支援する専門組織「PRAP AIO & Communication Lab」（ブラップ AIO アンド コミュニケーションラボ）が手掛けるサービスの第二弾です。

本サービスでは、企業サイト内の情報構造、一次情報・根拠、コンテンツ、構造化データ等を、対象サイトの課題に応じて整理・整備します。AI 回答において、自社の特徴や提供価値が正確かつ適切な文脈で扱われる状態を目指し、人にも AI にも理解しやすい情報基盤づくりを支援します。

2026 年 7 月に提供を開始した第一弾サービス「オウンドメディア現状把握診断」では、企業サイト側の情報基盤と AI 回答上の「認識ギャップ」を可視化します。第二弾となる本サービスでは、その診断結果を踏まえて改善優先度と対応範囲を整理し、クライアント企業のサイト制作・運用環境に応じて、ブラップジャパンによる直接実装、既存の制作会社や社内担当者への実装支援、または双方を組み合わせるなど、柔軟な対応を行います。



■「LLMO 基盤構築サービス」提供の背景

生成 AI の普及により、生活者の情報収集は、検索結果から個別のページを探す行動に加え、AI に条件を伝え、整理・比較された回答を得る行動へと広がっています。一方で、生成 AI には、事実と異なる情報を生成するハルシネーションに加え、企業が発信する情報の背景や文脈が失われ、断片的に伝わるリスクがあります。

AI は、企業サイトに掲載された一次情報だけでなく、ページ間のつながり、情報の更新性、根拠の示し方、メディア露出や第三者評価など、複数の情報を参照・統合して回答を生成します。そのため、企業には、正確な情報を掲載するだけでなく、自社の特徴、提供価値、根拠、社会的な位置づけが適切な文脈で理解されるよう、情報基盤を整えることが求められています。

こうした環境変化に加え、先行して提供した「オウンドメディア現状把握診断」において、生成 AI に自社の情報を適切に理解・参照させるための支援に対するニーズが確認されたことから、「LLMO（Large Language Model Optimization）」の基盤構築を総合的に支援する本サービスの提供に至りました。

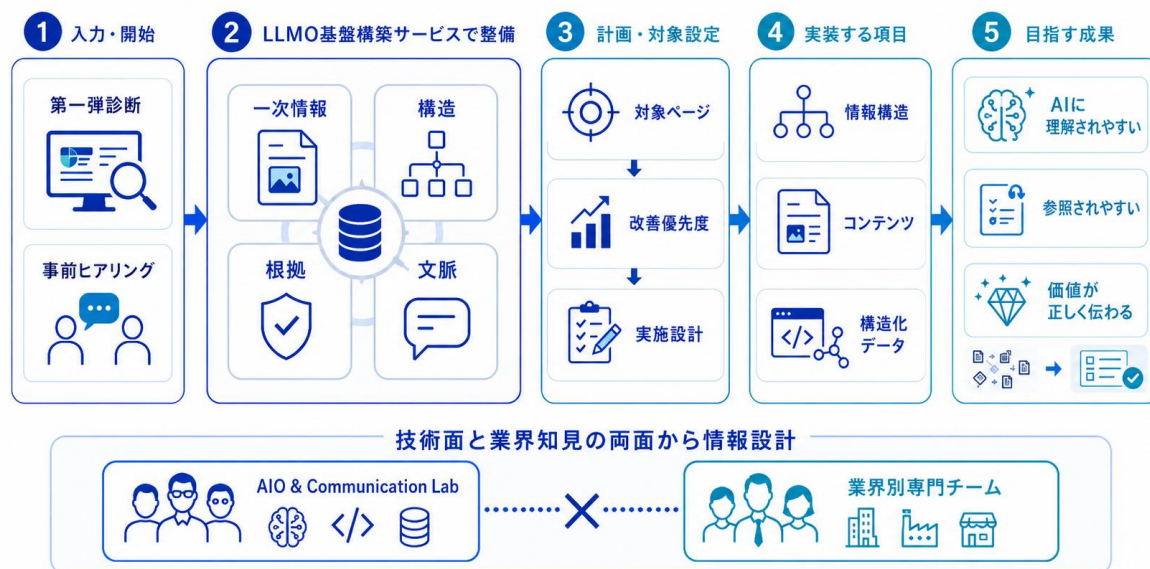
※LLMO（Large Language Model Optimization／大規模言語モデル最適化）とは

企業やサービスに関する情報を、ChatGPT や Gemini などの生成 AI が理解・参照しやすい形に整える取り組みです。従来の SEO が検索結果で「見つけてもらう」ための対策であるのに対し、LLMO は生成 AI に自社の情報を「正しく理解・参照してもらう」ための情報基盤づくりと位置づけられています。

■「LLMO 基盤構築サービス」概要

「LLMO 基盤構築サービス」は、企業サイトやオウンドメディアに掲載された一次情報と、その情報を支える構造・根拠・文脈を整理し、生成 AI が理解・参照しやすい状態へ整えるサービスです。先行サービスの診断結果や事前ヒアリングをもとに、対象ページと改善優先度を定め、情報構造、コンテンツ、構造化データ等から、必要な項目を組み合わせて実施します。

AIO・LLMO の専門知見を持つチームと、各業界の PR に精通した業種別専門チームが連携し、技術面と業界知見の両面から情報設計から実装まで支援します。AI による誤認識や情報の断片化のリスクを低減し、企業固有の特徴や提供価値が適切な文脈で伝わる状態を目指します。



■「LLMO 基盤構築サービス」の主な内容

本サービスは、①改善方針・対象範囲の設計、②サイト内の情報構造整理、③一次情報・根拠の整備、④コンテンツ改善、⑤構造化データ・技術設定、⑥実装後の確認の6つの実施領域で構成します。

実施領域	主な実施内容	位置づけ
 改善方針・対象範囲の設計	診断結果とヒアリングをもとに、対象ページ、改善優先度、実装範囲、役割分担、進行方法を整理します。	改善方針・対象範囲・実装方法を明確にします。
 サイト内の情報構造整理	ページ階層、見出し、関連ページへの導線、FAQ、情報同士のつながり等を確認し、必要に応じて整理します。	企業・サービスに関する情報の関係性を、AIにも人にも理解しやすくします。
 一次情報・根拠の整備	企業・サービスの事実情報、実績・事例、専門性、対応範囲、更新日、出典・根拠等の示し方を整えます。	回答の正確性や信頼性を支える情報を明確にします。
 コンテンツ改善	タイトル、リード、本文、FAQ、比較・選定の判断材料、背景説明等を、伝わり方の課題に応じて改善します。	情報の曖昧さや文脈の欠落を抑え、提供価値を具体的に伝えます。
 構造化データ・技術設定	Schema.orgの型・プロパティ選定、JSON-LD設定、メタ情報、canonical等を、サイト仕様に応じて必要な範囲で整備します。	AIや検索エンジンが情報を解釈しやすい技術基盤を整えます。
 実装後の確認	サイトへの反映状況を確認し、必要に応じてAI回答上の認識・引用状況を再確認します。	残存課題と次の改善候補を整理します。

※実施項目および対応範囲は、診断結果、対象サイト、CMS・開発体制、管理権限等に応じて個別に設計します。

■クライアント企業の実装環境に応じた実装方法

サイトの改修・実装方法は、クライアント企業の実装環境や社内体制に応じて設計します。ブラップジャパンがCMSやサイト管理環境へ直接反映する方法に加え、既存の制作会社や社内担当者が実装できるよう、設定案、仕様書、原稿案等を提供し、説明・レビューを行う方法にも対応します。管理権限や公開手順が分かれている場合は、双方の役割を整理した共同実装も可能です。



■PRAP AIO & Communication Lab とは

「PRAP AIO & Communication Lab」は、AIO 領域におけるコミュニケーションの在り方を研究・支援し、サービス開発を行う専門組織です。企業自身がオウンドサイトなどで発信する情報と、メディアやインフルエンサー、生活者など第三者が発信する企業に関する情報の双方を対象に、AI が企業をどのように認識し、回答として伝えるか、その特徴や傾向を分析します。

「オウンドメディア現状把握診断」と「LLMO 基盤構築サービス」を通じて、オウンドメディア上の一次情報・根拠・文脈の把握から整備・実装までを支援し、オウンドとアードの双方から、企業情報が AI にも人にも正しく伝わる状態づくりを目指します。

■ブラップジャパンとは

株式会社ブラップジャパンは、PR 発想で企業や団体のコミュニケーション活動を包括的にサポートする、コミュニケーションコンサルティング・グループです。1970 年に総合 PR 会社として創業して以来、多様な価値観の世の中において「あらゆる関係性を良好にする」というミッションを軸にビジネスの領域を広げてきました。日本・中国・東南アジアに拠点を持ち、コミュニケーション分野に専門性を持った複数のグループ会社と連携しながら、これまでの「当たり前」にとらわれず、社会の視野を広げるコミュニケーションで課題を解決しています。

ブラップジャパン HP : <https://www.prap.co.jp/>

ブラップグループ HP : <https://www.prapgroup.com/>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

株式会社ブラップジャパン「PRAP AIO & Communication Lab」

Email: prap_aio_and_communication_lab@prap.co.jp